

自分でつかむ自分の未来「はびろ学習会」

米原市	活動名：「はびろ学習会」	柏原中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所: 柏原中学校図書室		開始年度: 令和4年度	
年間開催日数: 10日		地域学校協働活動推進員等数: 3人(兼務3人)	
平均参加人数: 20人		学習支援員等 平均人数: 2人	
・学習形態 : <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充		<input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習	<input type="checkbox"/> その他()
・教室の持ち方 : <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施		<input type="checkbox"/> 土曜日実施	<input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他()
・学習支援員等の属性 : <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員		<input checked="" type="checkbox"/> 元教職員	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO 等関係者 <input type="checkbox"/> その他

■ 活動の概要と目的

テスト前および長期休業中に自宅での学習に取り組むことが難しい生徒への学習支援とする。

学習習慣の定着と自学自習ができる力を付けるきっかけとする。

■ 特徴的な学習支援内容

参加者各自が教材を準備し、自分のペースで自主的に進めることを基本とした。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

自分の都合に合わせた時間への参加とした。

■ 事業の成果

昨年度より開催日を多く設けられた。またテスト前には想定以上の参加数であった。全開催日時に参加する生徒もあり、自学自習の習慣を付けさせるきっかけとなった。

参加した全生徒が黙々と取り組み、自ら学習に向かう姿勢づくりとすることができた。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

支援者の確保が難しい。地域学校協働活動推進員とも連携しながら探していきたい。

部活動との兼ね合いや実施時刻の設定が難しい。学習習慣をつけさせることが目的でもあるので、テスト前や長期休業日にこだわらず、定期的の実施していけるよう検討していきたい。



【 はびろ学習会の様子 】

報告書記入者(校長)

学力補充教室 「いつやるの?今でしょ!教室」

米原市	活動名：「いつ今」教室	大東中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所: 会議室、美術室		開始年度: 平成25年度	
年間開催日数: 24日(開催ペース: 定期テスト前・長期休業中)		地域学校協働活動推進員等数: 0人	
平均参加人数: 15人		学習支援員等 平均人数: 2人	
・学習形態 : <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充		<input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習	<input type="checkbox"/> その他()
・教室の持ち方 : <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施		<input type="checkbox"/> 土曜日実施	<input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他()
・学習支援員等の属性 : <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員		<input checked="" type="checkbox"/> 元教職員	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO 等関係者 <input type="checkbox"/> その他

■ 活動の概要と目的

概要 定期テスト前や長期休業中、また3年生の入試対策として、学力補充やテスト対策を実施する。

目的 基礎学力の定着

自宅で学習に取り組むことが難しい生徒への支援

希望進路の実現に向けた個々の弱点補強や支援

■ 特徴的な学習支援内容

毎回、募集チラシを作成し、全校生徒に周知している。

できるだけ複数の学習支援員に入っただき、生徒の質問に個別対応できる体制を整えている。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

美術科の教員が毎回工夫したチラシを作成し、生徒の興味関心を高めている。

■ 事業の成果

特に自分で学習を進めることが難しい生徒にとっては、教えてもらいながらテスト勉強に取り組むことができるため、毎回、主体的に参加している。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

学習支援員の確保が課題となっている。

日程調整に時間がかかるため、担当教員の負担軽減をいかに図っていくか、検討していく必要がある。



【 「いつ今」教室 】

報告書記入者(教頭)

伊吹山中学校 3年生対象小論文対策講座

米原市	活動名：小論文対策講座	伊吹山中学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：多目的教室 年間開催日数：3日(冬季休業中) 平均参加人数：30人		開始年度：令和元年度 地域学校協働活動推進員等数：0人 学習支援員等 平均人数：1人
・学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他() ・教室の持ち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他() ・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO 等関係者 <input type="checkbox"/> その他		

■ 活動の概要と目的

本校3年生の生徒を対象に、本県県立高等学校特色選抜や推薦選抜での入学検査で課される小論文に対応するため、地域住民であり、元高等学校教員でもある講師を招聘し、「小論文対策講座」を実施する。

■ 特徴的な学習支援内容

生徒は、本県県立高等学校のこれまでの小論文の問題を課題にして、本番さながらに挑戦し、学習支援員を務める講師が一人ひとりの小論文を添削することで、自分の小論文を見直し、課題を改善できるように支援内容を工夫した。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

自分の希望する進路に応じて、3年生に講座参加の希望を募った。広いランチルームを会場とし、ICT 機器を効果的に活用した。

■ 事業の成果

生徒・保護者からも、「実施して欲しい」との声があり、地域のニーズに合っている。

生徒一人ひとりが複数の小論文の課題に取り組み、また、講師により個別に添削を行うことで、自分の小論文を見直し、課題を改善できるようになり、充実した講座となっている。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

小論文の添削に時間がかかるため、今後人材を増やすなど工夫する必要がある。



【小論文対策】

報告書記入者(教頭)

テスト前放課後学習会&長期休業中での全校学習会

米原市	活動名：テスト前放課後学習会&長期休業中での全校学習会	伊吹山中学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：ランチルーム 年間開催日数：放課後10日、長期休業中8日 平均参加人数：30人		開始年度：令和元年度 地域学校協働活動推進員等数：0人 学習支援員等 平均人数：2人
・学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他() ・教室の持ち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他() ・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> NPO 等関係者 <input type="checkbox"/> その他		

■ 活動の概要と目的

定期テスト前の放課後や長期休業中を利用して、生徒一人ひとりが、自分の習熟度や自分のペースに応じて学習を進めることで、基礎的・基本的な知識を習得する。さらに授業で学んだ内容や課題にじっくり取り組み、個別に質問できる場として開催する。

■ 特徴的な学習支援内容

複数の学習支援員が生徒の要望に応じて支援できる体制をとった。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

学習内容や課題等は、各生徒が自分で予定を立てて準備し、自由に質問ができるような形態をとっており、多くの生徒が参加を希望し、学習を進めることができていた。

長期休業中は部活動と並行して午前中に実施したところ、部活動単位での学習会参加があった。

■ 事業の成果

長期休業中や、部活動停止期間となる定期テスト前に実施したことで、生徒にとっては充実した学習習慣を継続させることができた。

自分の習熟度に応じて各教科の学習を進めることができるため、目標が立てやすく、十分に理解できるまで学習に取り組むことができた。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

生徒のニーズに応じるようにするため、学習支援員の確保に努め、今後も個別の学習指導・支援ができる体制づくりを進めていく必要がある。



【夏休み学習会】

報告書記入者(教頭)

学力補充教室「SGK（双葉学習教室）」（3年生対象）

米原市	活動名：SGK(双葉学習教室)	双葉中学校 学校運営協議会：■有 □無
主な活動場所：メディアスペース、英語少人数教室、理科室等 年間開催日数：50日(開催ペース：5講座 各10回、11月～2月 週1日) 平均参加人数：17人(のべ83人)		開始年度：令和6年度 地域学校協働活動推進員等数：0人 学習支援員等 平均人数：1人
・学習形態：■個別の学力補充 ■教材を使った一斉学習 □その他() ・教室の持ち方：■平日放課後実施 □土曜日実施 ■長期休業日(冬休み)実施 □その他() ・学習支援員等の属性：□企業関係者 □行政職員 ■元教職員 □地域住民 ■大学生 □NPO等関係者 □その他		

■ 活動の概要と目的

概要 3年生の入試対策として、学力補充や入試対策を実施

目的 基礎学力補充および特別対策(小論文・英作文)

自宅で学習に取り組むことが難しい生徒への支援

希望進路の実現に向けた個々の弱点補強や支援

■ 特徴的な学習支援内容

基礎講座(数・社・英)と特別講座(小論文・英作文)を開設

全体指導と個別指導を併用し、生徒の質問に個別対応できる体制

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

募集チラシを作成し、3年生全員に周知した。

目的別(基礎・特別)の講座を開設し、生徒の学力補充や興味関心に対応した。

■ 事業の成果

特に自分で学習を進めることが難しい生徒にとっては、教えてもらいながら基礎学力向上に取り組むことができるため、どの講座も主体的に参加している。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

日程調整に時間がかかるため、担当教員の負担軽減をいかに図っていくか、検討していく必要がある。



【 SGK(双葉学習教室) 】

報告書記入者(教頭)

地域の力を活用し、将来に向けて自己肯定感を高める生徒の育成をめざす

米原市	活動名：米原学習教室(MGK)	米原中学校 学校運営協議会：■有 □無
主な活動場所：米原中学校 年間開催日数：70日(8月1週目：5日間、月平均5日) 平均参加人数：20人		開始年度：平成29年度 地域学校協働活動推進員数：2人 学習支援員等 平均人数：1～2人
・学習形態：■個別の学力補充 ■教材を使った一斉学習 □その他() ・教室の持ち方：■平日放課後実施 □土曜日実施 ■長期休業日実施 □その他() ・学習支援員等の属性：□企業関係者 □行政職員 ■元教職員 □地域住民 ■大学生 □NPO等関係者 ■その他		

■ 活動の概要と目的

学習面で不安を抱える生徒も多い中、長期休業中に低学力の生徒を中心に学習支援を行う。

3年生を対象に放課後の時間を活用し、「スーパーMGK」と題して地域で居場所づくりの活動をしている大学生に依頼し、学力補充教室を開催する。

3学期は入試の小論文講座を1月に4回開催する。

■ 特徴的な学習支援内容

8月の第1週に全学年から、生徒が課題を持参し、元教員と地域の大学生が個別指導を行った。

3年生は4月より入試に向けた学力補充教室を週1～2回開催した。

1月には入試の小論文対策として元国語教員が指導にあたった。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

全保護者あてに、案内を出した。課題の多い生徒は担任から直接声をかけた。

長期休業中は、3年生を中心に1・2年生にも拡大して質問教室を実施した。

アンケートなどを実施し、内容の改善に活用した。

■ 事業の成果

一人では課題に取りくめない生徒も、課題を提出することができた。

3年生については講座を選択することにより、苦手教科の克服につながった。

また、入試を意識した学習を2学期から行うことができた。

年齢も近く、居場所づくりで実績のある大学生に依頼することで、学習面や心理面でも生徒の安心感につながることができた。また、大学生の立場から他の様々な活動でもボランティアとして参画していただけた。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

教員の働き方改革の視点からも本事業は有用であるが教員OB等講師の確保が難しい。

現在支援していただいている大学生が卒業後、継続的な活動になるか未知数である。



【 MGKの様子 】

報告書記入者(教頭)

笑顔いっぱい・学びいっぱい 活動 ～自ら学ぼうとする生徒への学習機会の場の設定～

米原市	活動名：土曜バチスタ	河南中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所:河南中学校 開始年度:平成29年度(令和4年度から活動名変更) 年間開催日数:15日(開催ペース:月2日) 地域学校協働活動推進員等数:0人 平均参加人数:12.5人 学習支援員等 平均人数:2人 ・学習形態： <input checked="" type="checkbox"/> 個別の学力補充 <input type="checkbox"/> 教材を使った一斉学習 <input type="checkbox"/> その他() ・教室の持ち方： <input type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input checked="" type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他() ・学習支援員等の属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

■ 活動の概要と目的

月2回土曜日の午前中に開催し、自主的に学ぼうとする生徒のために、その場を提供して、生徒の学びの基礎を育成する。

■ 特徴的な学習支援内容

本校を卒業した大学生と本校の元教員を講師に招き、自主的に学習を進めるうえで、わからないところをすぐに質問できる体制を構築した。

■ 参加者の募集や事業実施に当たっての工夫

保護者宛の文書や学校通信によって周知した。
9:00 から 12:00 の間の都合のつく時間帯で参加可能にした。

■ 事業の成果

家庭ではなかなか集中できない生徒も、土曜学習会に参加することで黙々と取り組む雰囲気の中、集中して学習に取り組んでいた。
わからないところをいつでも講師に教えてもらえる環境で意欲的に学習できた。

■ 事業実施上の課題と今後の学習支援活動に向けて

講師の大学生の都合もあるため、開催日を事前に決定することに苦慮した。定期テスト前など多くの生徒が参加する傾向があり、今後も学習する場の提供は必要と強く感じた。

■ その他

前日に、昇降口に案内看板を掲示したり、保護者連絡用アプリ(tetoru)で開講予定を事前に周知したりした。



【 土曜バチスタの様子 】

報告書記入者(教頭)